

D365FOの開発応用B

目次

第1章 標準SSRSのカスタマイズ

1-1. Report

1-2. Query

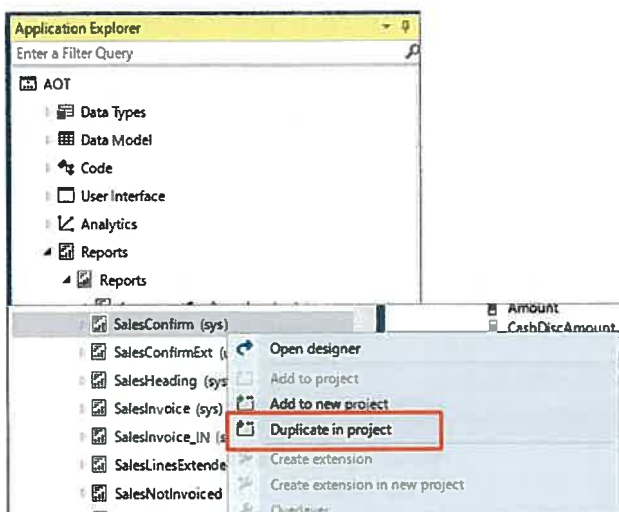
第1章 標準SSRSのカスタマイズ

1-1. Report

1-2. Query

1-1. Report

ReportはExtension不可です。
Duplicate(複製)を行い、カスタマイズを行うことが可能です。



1-1. Report



Reportのカスタマイズ方法を学習します。

標準帳票の販売注文の確認書に販売注文明細から「確定入荷日」「入荷希望日」を追加し出力する方法を学習します。

確認書

1 / 1

番号 JPMF-000141-1
日付 2018/06/01
取組注文 JPMF-000141
要求
会社名 Julia Funderburk
会社名 月来増減月支払い

出荷先
Ntcol 住所 1
西野道 2-7-1
新横浜 東京都 165-0722
JPN

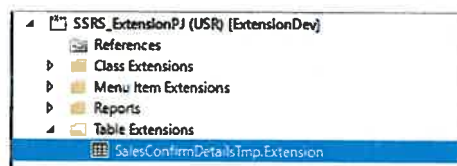
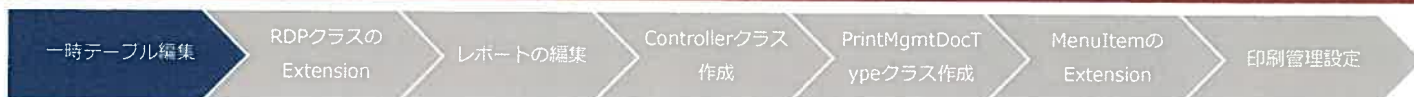
品番	説明	出荷日	確定入荷日	入荷希望日	数量	単位	販売価格	割引	割引率	金額
T0004	Television M120 37" Black	2018/06/01	2018/06/06	2018/06/31	1.00	ea	0.00	0.00	0.00%	0.00

項目	販売の小計金額	割引合計	送料	正味金額	消費税	丸め	合計
JPY	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

開発手順は以下になります。

- 1) 一時テーブルに項目を追加
- 2) RDPクラスのExtension
- 3) レポートのデザインをコピー／編集／配置
- 4) Controllerクラス作成
- 5) PrintMgmtDocTypeクラス作成
- 6) MenuItemのExtension
- 7) 印刷設定

1-1. Report



Step 1

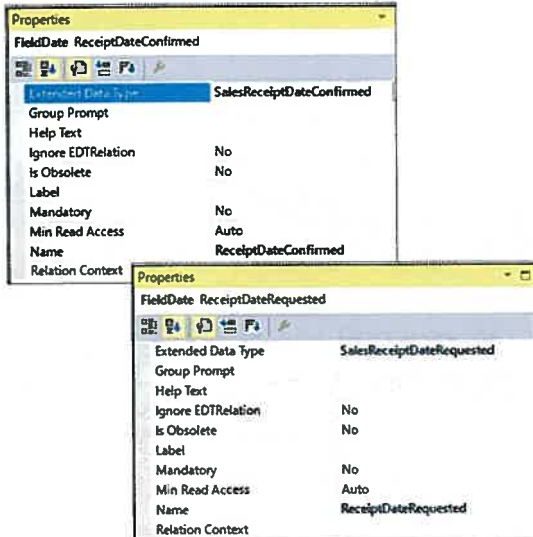
ProjectにSalesConfirmDetailsTmpのExtensionを追加します。



Step 2

FieldsにDate型で2項目追加します。

1-1. Report



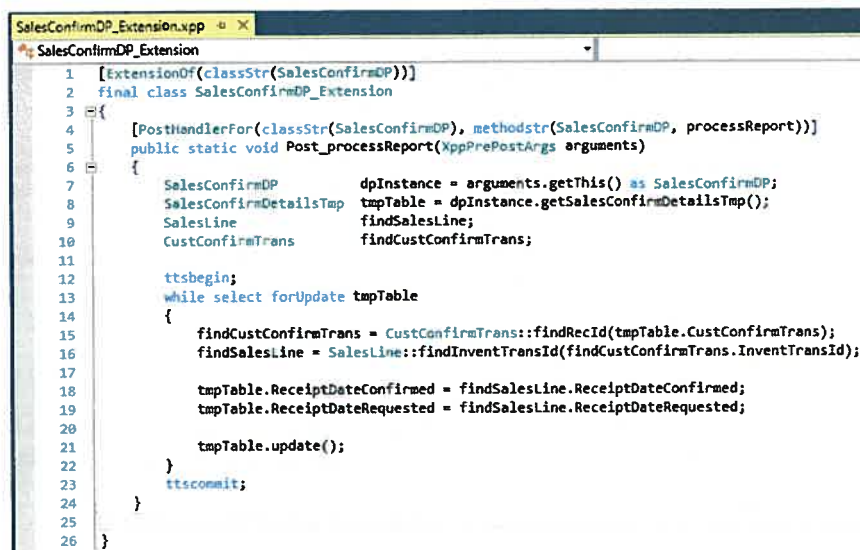
Step 3

追加した項目のプロパティを以下のように設定します。

Field名	プロパティ名	設定値
FieldDate1	Name	ReceiptDateConfirmed
	Extended Data Type	SalesReceiptDateConfirmed
FieldDate2	Name	ReceiptDateRequested
	Extended Data Type	SalesReceiptDateRequested

※テーブルを変更をしたので、データベースと同期を行います。

1-1. Report



Step 1

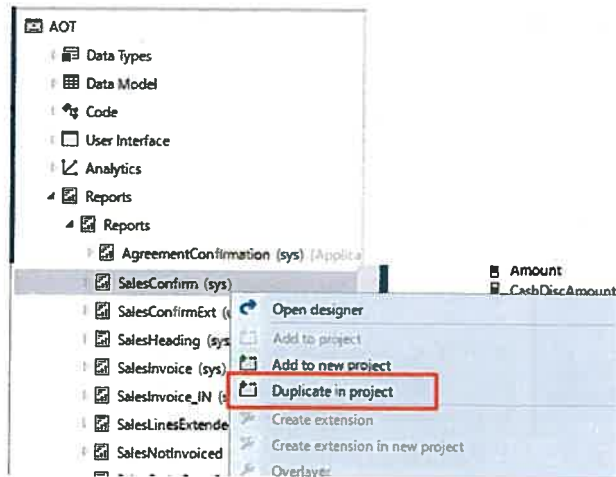
1 行目 :
標準クラス「SalesConfirmDP」の
Extensionクラスを宣言します。

4 行目 :
標準メソッド「processReport」の
PostHandlerメソッドを宣言します。

7 ~ 10 行目 :
変数を宣言します。

12 ~ 23 行目 :
一時テーブルに追加した項目へ販売注文
明細からデータをセットします。

1-1. Report

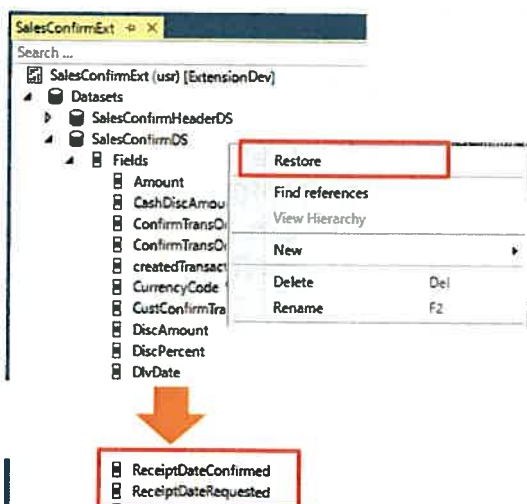


Step 1

確認書のレポートオブジェクトの複製をプロジェクトに追加します。

AOT > Reports > SalesComfim > 右クリック
> Duplicate in project

1-1. Report



Step 2

複製したレポートオブジェクトを「SalesConfirmExt」とRenameします。

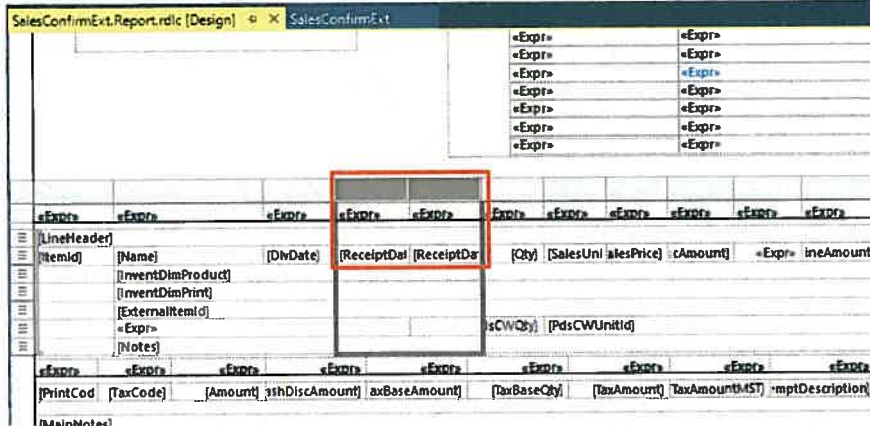
Step 3

Datasetsを更新します。

Datasets > SalesConfirmDS > 右クリック > Restore

Fieldsに「ReceiptDateConfirmed」「ReceiptDateRequested」が表示されます。

1-1. Report



Step 4

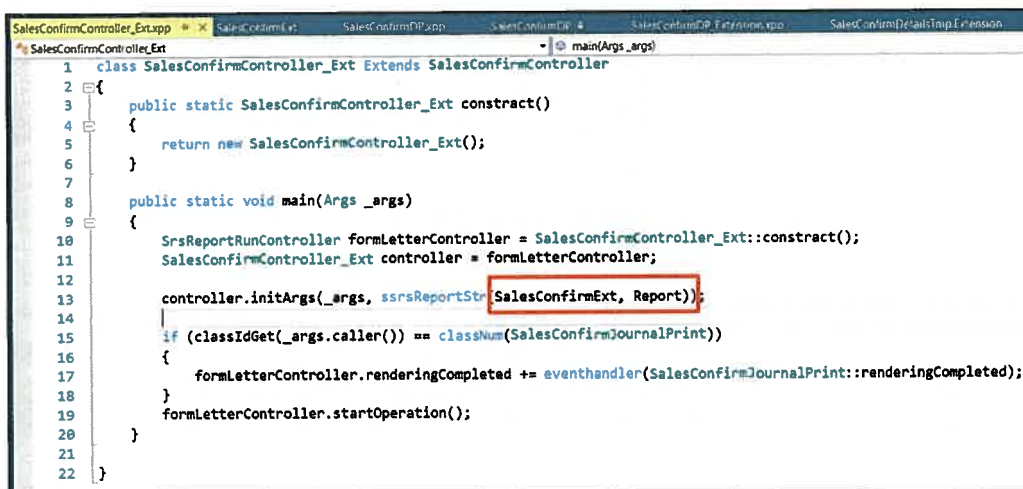
レポートのデザインを編集します。

- ①ラベル
=Labels!@SYS ~
- ②データの値
追加した2項目
- ③Number
Date
- ④Alignments
Left

※デザインを編集するとレポート幅が自動に変更されるので注意します。

※レポートの編集が終了したら、レポートの配置を行います。

1-1. Report



Step 1

1 行目 :
「SalesConfirmController」
を継承します。

3 ~ 20 行目 :
「construct」「main」メソッドを作成します。

※15 ~ 19 行目 :
既存ソースコードと同一。

1-1. Report



```

1 class PrintMgmtDocType_Ext
2 {
3     [SubscribeTo(classstr(PrintMgmtDocType), delegatestr(PrintMgmtDocType, getDefaultReportFormatDelegate))]
4     public static void PrintMgmtDocType_getDefaultReportFormatDelegate(PrintMgmtDocType _docType, EventHandlerResult _result)
5     {
6         switch(_docType)
7         {
8             case PrintMgmtDocType::SalesOrderConfirmation:
9                 _result.result(ssrsReportsStr(SalesConfirmExt, Report));
10            break;
11        }
12    }
13 }
14

```

Step 1

9行目:
標準帳票を複製して作成した
レポート
「SalesConfirmExt」と
「Report」を指定します。

1-1. Report



Properties	
MenuItemOutputExtension SalesConfirmation.Extension	
Is Overlayed	False
Label	@SYS22791
Linked Permission Object	SalesConfirm
Linked Permission Object Child	Report
Linked Permission Type	SSRS Report
Maintain User License	Universal
Multi Select	Yes
Name	SalesConfirmation.Extension
Needs Record	No
Normal Image	
Object	SalesConfirmController_Ext
Object Type	Class
Open Mode	Auto
Operational domain	NotSpecified

Step 1

Menu Item 「SalesConfirmation」を
Extensionします。

Step 2

Menu ItemのプロパティのObjectに
「SalesConfirmController_Ext」を
設定します。

1-1. Report



Step 1

Dynamics365画面で印刷管理設定を行います。
売掛金管理 > 設定 > フォーム
> フォームの設定
印刷管理を押下します。

1-1. Report



Step 2

販売注文確認のレポート形式を
「SalesConfirmExt.Report」
に設定します。

1-1. Report



確認書

ページ

1 / 1

番号

JPMF-000141-1

日付

2018/06/01

販売主文

JPMF-000141

要求

自社参画

自社参画

支払

Julie Funderburk

月主理至月主理

出荷先

Nitcol 住野 1

森野道 2-7-1

新宿区 東京都 163-0722

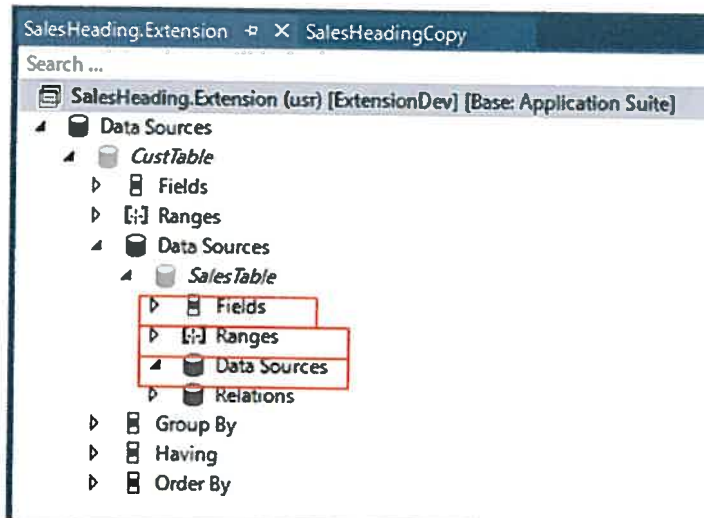
JPN

品目番号	説明	出荷日	確定入荷日	入荷希望日	数量	単位	販売価格	割引	割引率	金額
T0004	Television M120 37" Black	2018/05/31	2018/06/06	2018/05/31	1.00	ea	0.00	0.00	0.00%	0.00
通貨	販売の小計金額	割引合計	諸税	正味金額	消費税	丸め	合計			
JPY	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

<確認>
 確認書に
 「確定入荷日」
 「入荷希望日」
 が印字されるようになりました。

1-2. Query

QueryのExtensionを学習します。
 以下の項目がQueryでExtension可能なPropertyになります。



Extension可能なProperties

標準のデータソースに対して以下を追加できます。

- Fields
- Ranges
- Data Sources

1-2. Query

QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

MenuItemの
Extension

確認

標準帳票の顧客別の販売注文に「作成ユーザー」「住所」を追加し出力する方法を学習します。

販売注文				Page 1 / 1			
Customer Entertainment Japan				2018/06/11 12:11			
顧客 ID	JPMF-000001	名前	野村商事	小計金額	929,900.00	JPY	与信限度額
							0.00
販売注文	作成日時	出荷日					
JPMF-000005	2013/02/08 18:48:42	2013/02/08					
JPMF-000006	2013/02/21 11:09:11	2013/02/20					
JPMF-000007	2013/02/22 19:50:52	2013/02/21					
JPMF-000011	2015/10/07 22:00:00	2015/10/06					
JPMF-000012	2015/10/07 22:36:49	2015/10/06					
JPMF-000016	2018/05/21 13:18:41	2018/05/20					
JPMF-000017	2018/05/21 13:27:28	2018/05/20					
JPMF-000002	2012/12/29 20:26:38	2012/12/29					
JPMF-000003	2012/12/29 20:47:49	2012/12/29					

開発手順は以下になります。

- 1) QueryのExtension
- 2) レポートのコピー／編集／配置
- 3) Controllerクラス作成
- 4) MenuItemのExtension
- 5) 確認

1-2. Query

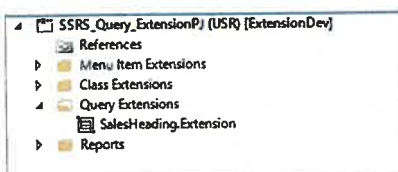
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

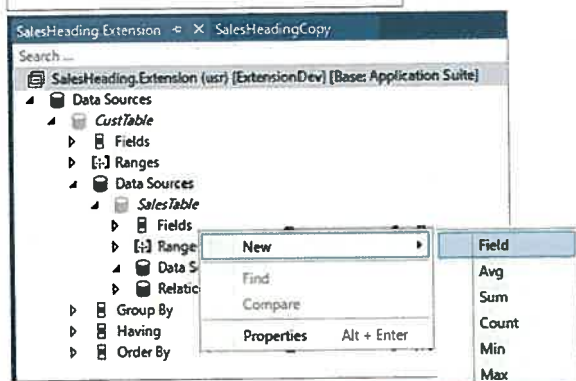
MenuItemの
Extension

確認



Step 1

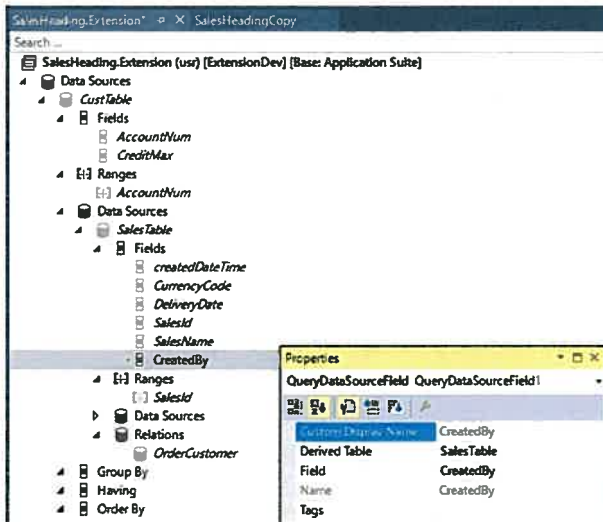
ProjectにQueryのSalesHeadingのExtensionを追加します。



Step 2

Data Sources > Data Sources > SalesTable の Fields に追加します。

1-2. Query



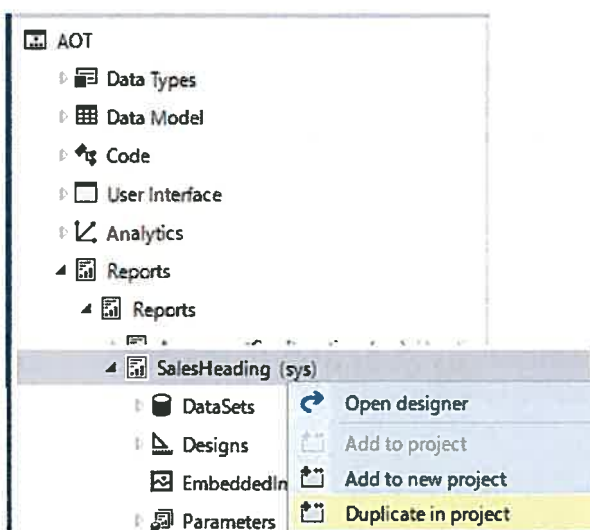
Step 3

追加した項目のプロパティを以下のように設定します。

Field名	プロパティ名	設定値
QueryDataSourceField1	Derived Table	SalesTable
	Field	CreatedBy

※データベースと同期を行います。

1-2. Query



Step 1

確認書のレポートオブジェクトの複製をプロジェクトに追加します。

AOT > Reports > SalesHeading > 右クリック > Duplicate in project

1-2. Query

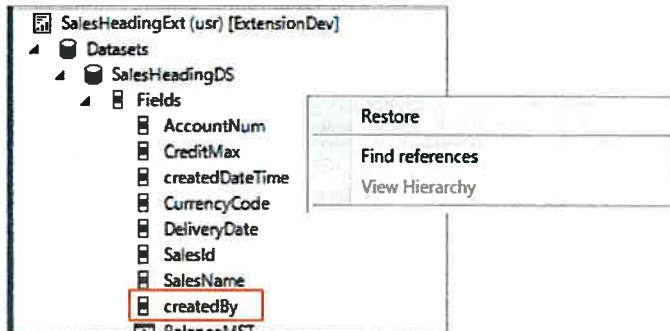
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

MenuItemの
Extension

確認



Step 2

複製したレポートオブジェクトを「SalesHeadingExt」とRenameします。

Step 3

Datasetsを更新します。
Datasets > SalesHeadingDS > 右クリック > Restore

Fieldsに「createdBy」が追加されます。

1-2. Query

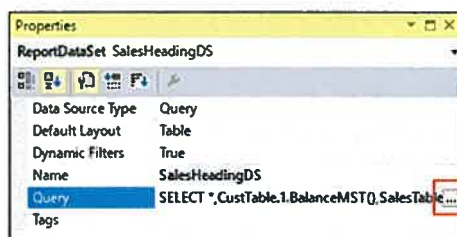
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

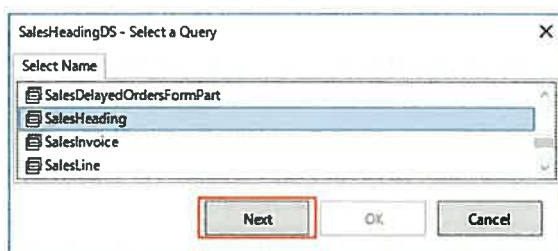
MenuItemの
Extension

確認



Step 4

deliveryAddressingメソッドを追加するため、プロパティを開きます。
Queryの右図のボタンを押下します。



Step 5

SalesHeadingDS-Select a Query画面が開くので、「SalesHeading」が選択されている状態で、「Next」を押下します。

1-2. Query

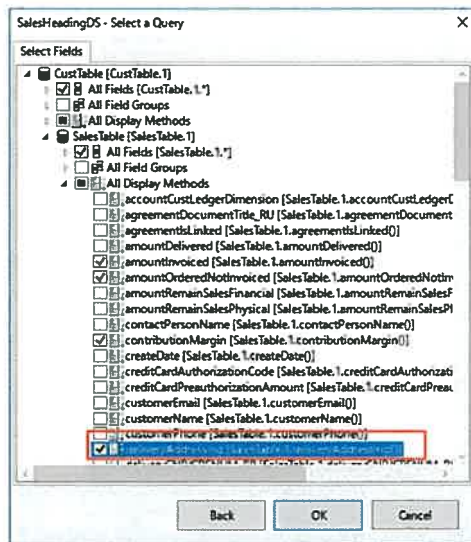
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

MenuItemの
Extension

確認



Step 6

CustTable > SalesTable > All Display Methods から「deliveryAddressing」を選択します。

1-2. Query

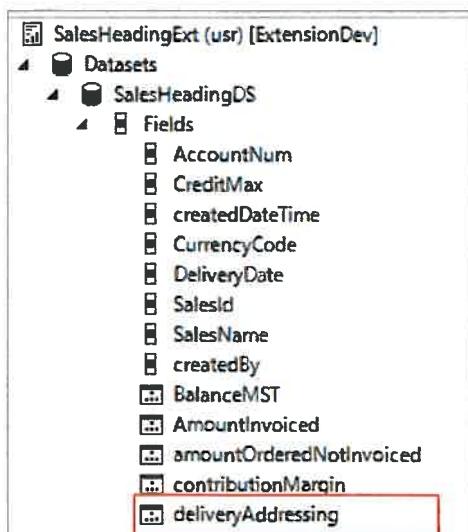
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

MenuItemの
Extension

確認



Step 7

Fields内に「deliveryAddressing」が追加されました。

1-2. Query

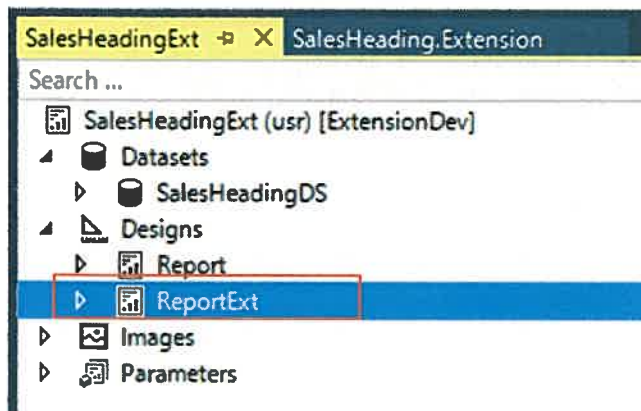
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

MenuItemの
Extension

確認



Step 8

Designs > Report
をDuplicateします。
「ReportExt」とRenameします。

1-2. Query

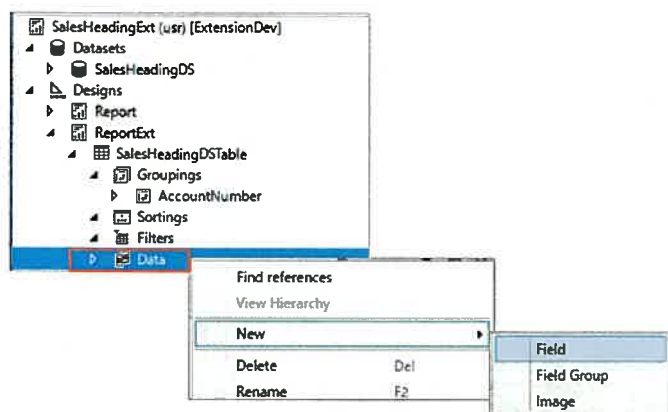
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

MenuItemの
Extension

確認



Step 9

ReportExt > Data > 右クリック > New >
Field
2項目追加します。

1-2. Query

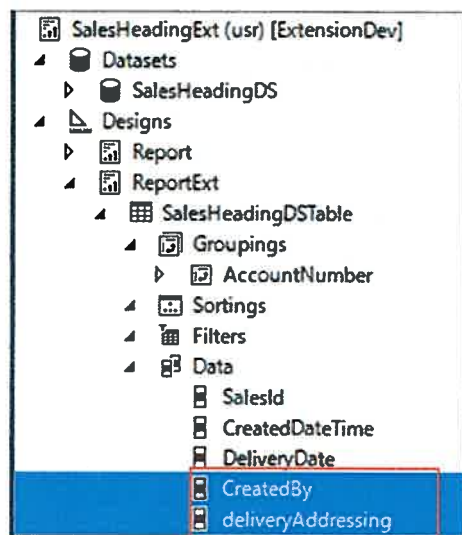
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

MenuItemの
Extension

確認



Step 1 0

追加した項目のプロパティを以下のように設定します

Field名	プロパティ名	設定値
Field1	Caption	=Labels!@SYS134863
	Expression	=Fields!createdBy.Value
	Name	CreatedBy
Field2	Caption	=Labels!@SYS9362
	Expression	=Fields!deliveryAddressing.Value
	Name	deliveryAddressing

Step 1 1

左図のように並べ替えます。

1-2. Query

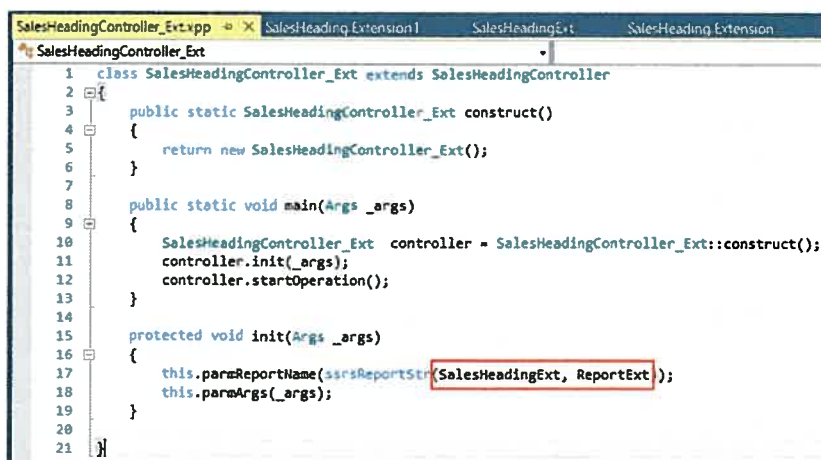
QueryのExtension

レポートの編集

Controllerクラス
作成

MenuItemの
Extension

確認



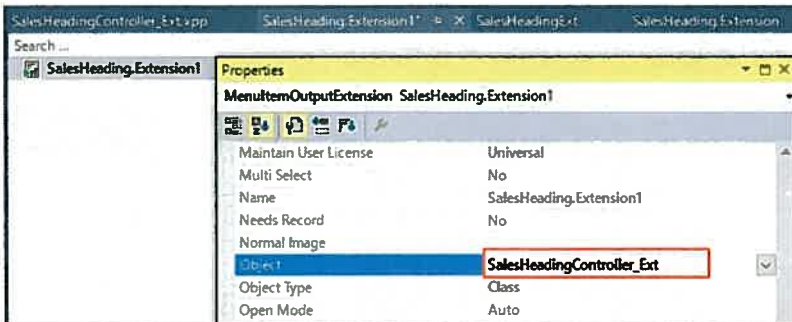
Step 1

1行目：
「SalesHeadingController」を継承します。

3～19行目：
「construct」「main」「init」メソッドを作成します。

「init」メソッドで新しく作成したレポート名を指定します。

1-2. Query



Step 1

Menu Item「SalesHeading」をExtensionします。

Step 2

Menu ItemのプロパティのObjectに「SalesHeadingController _Ext」を設定します。

1-2. Query



販売注文							ページ 1 / 1	
Contoco Entertainment Japan							2018/06/11	
							13:11	
顧客ID	JPM/F-000001	名前	野行理事	小計金額	929,900.00	JPY	与信限度額	0.00
販売注文	作成日時	出荷日	作成ユーザー	住所				
JPM/F-000005	2018/02/08 18:48:42	2018/02/08	TED	中央区道頓堀21丁目47 大阪市、大阪府 4530402 JPN				
JPM/F-000006	2018/02/21 11:09:11	2018/02/20	OSCAR	中央区道頓堀21丁目47 大阪市、大阪府 4530402 JPN				
JPM/F-000007	2018/02/22 15:50:52	2018/02/21	OSCAR	中央区道頓堀21丁目47 大阪市、大阪府 4530402 JPN				
JPM/F-000011	2018/10/07 2:23:00	2018/10/06	Admin	中央区道頓堀21丁目47 大阪市、大阪府 4530402 JPN				

<確認>

顧客別の販売注文に「作成ユーザー」「住所」が印字されるようになりました。